

斜里町・羅臼町で実施するアンケート調査の概要

北海道大学
庄子康

【目的】

アンケートの目的は、両町住民がヒグマの出没頻度や被害の頻度など、将来的にヒグマとどのような関係の下で暮らすことを望んでいるのかを明らかにし、その住民の意向について、住民が受けている被害状況やヒグマに対する認識、過去の遭遇経験、現状の管理に対する満足度などがどのように関わっているのかを明らかにすることである。また、職業や居住地による違いがあるかどうかについても分析を行うなど、得られた結果を比較検討し、実施可能でかつ住民に許容されるヒグマの保護管理とはどのようなものなのかを探り、保護管理方針の策定に反映させる。

【アンケートの内容】

上記の目的に沿って、以下の質問項目を検討している。

- **被害状況に対する設問**

内容は農林水産業被害や精神的被害を想定していますが、過去に知床財団が実施したものを参考に設問項目を整理する予定です。

- **回答者の経験や管理に対する満足度など・過去の経験**

- **ヒグマのリスク認識に関する質問**

ヒグマに対するものではありませんが、健康リスクなどに対する認識を評価するための質問項目がすでに開発されていますので、それを流用することを考えています。

- **住民の意向に関する設問**

いくつかのヒグマに関する管理オプションを提示して、それらに対する評価を得る方法を考えています。

- **個人属性（職業や居住地、年齢、性別など）**

【アンケートの実施方法】

統計手法の多くが標本調査用に作られているため、標本調査による実施を想定。具体的なサンプリング方法については検討中であるが、斜里町、羅臼町で統一的なものになるよう検討する。